

## 平成 28 年度予算の概要

### 生活交通確保維持・強化事業

#### ○区バス存続要件の見直し

<p>収支率 (運賃収入等÷運行経費)</p> <p>30%以上</p>	<p>地域の特性を考慮し、回送距離や実車距離を補正した運行経費をもとに収支率を算定する。</p> <p>※存続要件である「収支率 30%以上」は変えず、収支率の算定方法を見直す。</p>
--	---

#### ○平成 28 年度 区バス・住民バスの運行

区バス運行事業	<p>北区をはじめ、7区 13ルートで運行</p> <p>・北区バスの平日早朝1便と冬季1便を増便【拡充】</p>
住民バス運行費補助	<p>西区坂井輪地区をはじめ、11団体へバス運行費を補助</p> <p>・中央区新潟島下町地区の土休日5便を増便【拡充】</p>

#### ○平成 28 年度 区内生活交通の主な社会実験

ニーズ調査	<p>中央区：住民バス 動態調査（新潟島下町地区）</p> <p>江南区：住民バス 新規路線（大江山地区）</p> <p>秋葉区：住民バス 新規路線（小須戸地区）【新規実施】</p> <p>西区：住民バス 動態調査（坂井輪地区）</p>
運行実験	<p>区バス</p> <p>東区：新規路線（紫竹ルート）【新規実施】</p> <p>南区：新規路線（まちなか循環）</p>
	<p>住民バス</p> <p>中央区：新潟島下町地区 増便</p> <p>江南区：横越地区 土曜運行（北・南ルート）</p> <p>横越地区 新規路線（焼山ルート）</p> <p>両川地区 新規路線</p> <p>西区：坂井輪地区 土休日運行</p> <p>西蒲区：角田地区 新規路線</p>

※上記については、運営団体・運行事業者などの関係者と調整したうえで実施

### 交通システム高度化事業（公共交通の利用促進）

#### ○平成 28 年度の主な事業

<p>高齢者のおでかけ支援 「シニア半わり」</p> <p>【本格実施】</p>	<p>高齢者のバス利用によるおでかけを支援し、健康寿命の延伸やまちなかの活性化を図る。</p>	<p>バス IC カード「りゅうと」を活用し、65 歳以上の高齢者を対象にバス運賃を半額にする。</p> <p>・H28 夏頃より本格実施を予定</p>
<p>パークアンドライド実験</p>	<p>郊外における交通結節機能の強化を図ることで、都心へのアクセス向上を図る。</p>	<p>駅隣接の市有地を活用し、一時利用も可能なパークアンドライド実験を行う。</p> <p>・JR 越後赤塚駅</p> <p>・JR 巻駅【新規実施】</p>
<p>バス交通等の利便性向上</p>	<p>バス停上屋の整備等を行うことで公共交通の利用環境を改善し、公共交通の利用促進を図る。</p>	<p>◇バス停上屋の設置（1箇所）</p> <p>◇新潟駅南口広場防風スクリーン設置（タクシー乗り場）</p> <p>◇公共交通情報案内板の運用（新潟駅万代口や西堀ローサなど）</p>
<p>公共交通の利用啓発</p>	<p>過度なマイカー依存から公共交通利用への転換を促すモビリティ・マネジメントの積極的な展開を図る。</p>	<p>◇公共交通の利用方法などをまとめた冊子の作成</p> <p>◇公共交通利用促進サイトの運営</p>